

わかちあいプロジェクト NEWS No.7

1996 MAY



たくさんの方がとうを日本の皆さんへ アンドスナイ村より

カンボジア、コンポンチュナン省にあるアンドスナイ村で、「村の銀行」の集会に出ました。集会場はメンバーの家の庭先の木陰。手に手に通帳（とはいっても厚色紙をふたつ折りにしただけのもの）を持ち、その日の返済と積立をしに来る村人。役員も近所どうしの顔見知り。LWSのスタッフの助言をうけながら、電卓をたたき、通帳や帳簿にいっぺんにその日の収支を記録していきます。集まっている銀行のメンバーも、あちこちからおしゃべりしたり、ちょっと口げんかになったり、子供がその辺を走り回ったり。このような小さな営みから深い傷を負った国の再建は、このような小さな営みからこそ生まれてくるのだらうと感じながら、そのおしゃべ

りの輪に入れてもらいました。ここでの日々の生活は楽ではありません。でも、ここにも平穏な「日常」が定着しつつあります。皆、それぞれの人生の喜びや悲しみを味わいながら毎日懸命に生きているのは、日本もカンボジアも同じです。それにしても、過去を淡々と語るおばさんたちが、つまじ家族の中のをずかぬ「生き残り」であるのだ、という苦衷にふるとき、「政府」というしくみが随し持つ毒と、あまりに大きな代償を支払った民族の痛みをいまさらながら身近に感じます。このプロジェクトを支援していただく皆様にもぜひ継続してこの国の過去と現在に関心をあお寄せさせていただきますようお願いいたします。（橋本 純）

人間と環境に配慮した有機農業を

わかちあいプロジェクトでは公平な貿易という目的と同時に、生産者に対して、また消費者に対しても安全で良質の環境を提供することを旨として有機、無農薬の作物を扱ってきました。その基準を定めているのがIFOAM (International Federation of Organic Agriculture Movement: 国際有機栽培農業運動) です。わかちあいプロジェクトの紅茶・コーヒーの有機栽培証明を行っているNaturland (ドイツ) とOCIA (アメリカ) もこの運動に参加しています。IFOAMのガイドラインから、コーヒー、ココア、紅茶に関する背景説明と検査証明の部分をご紹介します。

◇◇◇◇◇◇

農業

有機栽培のコーヒー、紅茶、ココアは、持続可能な農業システムにのって栽培されなければならない。土壌は、自然で、しかもできるかぎり地域で調達することが出来るものや有機農法の過程の中で出てくる副産物などを与えることによって維持改良を行うべきである。栽培と加工によって生じる土壌の流失や汚染などの可能性は、適切な技術を用いてを最小限にとどめられる。化石燃料やその他の再利用ができない資源の使用は最小限にとどめられる。生産物は、残留不純物のないものであるべきである。有機栽培技術のそれぞれの生産過程の発展と同時に、社会経済的な側面も改良する。イダグがけや高層堆肥を手にするマナーのグナナセカンム。



善されなければならない。「化学肥料や農薬を使っていません」とか「残留不純物ゼロ」と謳うだけでは作物が本当に有機栽培とよぶにふさわしいとは言えない。(中略)

検査と保証

- ①農園全体が有機農法で運営されていること
- ②少なくとも年に1回栽培期間中に立ち入り検査を行う。検査官は認定機関との合意にもとづいて無作為に選ばれた農場に予告なく行われる。検査は農場の検分、有機栽培技術のチェック、帳簿の閲覧などによって行われる。
- ③農業共同組合に関しては、管理内規が定められなければならない。これも無作為抽出検査の対象となる。
- ④有機農法への転換は、認定団体に申請する際または検査官の最初の訪問の際に生産者が提示する転換計画にもとづいて行われる。有機栽培の質は、この転換計画の実施の進展によって評価される。
- ⑤生産者、生産者団体と、認定機関の間においては、契約が結ばなくてはならない。
- ⑥農園の一般的情報、地図、登録された畑のリストが閲覧のために用意されなくてはならない。
- ⑦帳簿には、作付量、収穫と、加工・保存から梱包、売却までの生産物の流れについての記録が記載されなければならない。
- ⑧残留物検査のためのサンプルの抜き取りも行われる。

新製品!



真空パックができました!
250グラムの真空パック(例・写真)と、同じ袋に入った豆(石)をご用意いたしました。マム(メキシコ)、アンデス(ペルー)、ポリビア、オルガニコ(3種のブレンド)が揃いました。在入りは贈答用として引き続き販売いたします。



送られてきた有機栽培の証明書

⑨詳細な作付の一覧表が認定団体の保証を受けるためには必要である。
⑩転換の初期の段階においては、住宅、食料、衛生などの社会的諸条件の目録が作成され、それらの改善計画が提示される。計画は合意された達成日目標期日にしたがって実施される。

◇◇◇◇◇◇

一口に有機栽培といっても、それを保証するためにたくさんの方がそがれていることをご理解いただければ幸いです。

お詫びと訂正

1995年出荷分のダーズリン・セリンポン茶園の紅茶は、生産者の口頭の確認では有機栽培と聞いておりましたが、後で審議で確認したところ、「有機栽培への転換の半年後であることが確認された紅茶であったことが判明しました。農産物の不足をおわびいたします。なお、96年度入荷分は、有機栽培の証明されたサベベンダ茶園の紅茶に切り替えましたので、ご了承ください。

